

JICA 横浜 海外移住資料館

館報

2017 年度



はじめに

JICA 海外移住資料館が 2002 年 10 月に開館し、15 年が経過しました。横浜みなとみらい 21 地区の発展とともに当館へも多くの方々にご来館いただいています。2017 年度の訪問者数は昨年度よりやや減り 48,239 人となりましたが、開館以来の累計訪問者は 52 万人を超えました。これもひとえに資料の収集・展示・保管や調査研究活動、講座や各種の催しにご協力くださる関係者の方々、そして当館の活動を暖かく支えてくださる地域の方々のお蔭であり、厚く御礼申し上げます。

2017 年度は移住先国をとりあげた 2 件、写真展「ハワイ日系人の歩み」と、日本人メキシコ移住 120 周年記念企画展示「メヒコの心に生きた移民たち」に加え、「移住者送出県」シリーズとして高知県をとりあげ、「南国土佐をあとにしてー海を渡った『いごっそう』-」の計 3 件の企画展示を実施し、それぞれ約 3 カ月間開催いたしました。これら展示に関連した催しを同時に開催し、研究者や海外移住に関心を持つ方々をはじめ、多くの方々にご来場・ご参加いただきました。

特に、写真展「ハワイ日系人の歩み」では、オープニングセレモニー・イベントとしてウクレレ奏者のクウレイ・マモさんとフラダンスチームを迎え、ハワイアン・ミニコンサートを開催しました。また「南国土佐をあとにしてー海を渡った『いごっそう』-」では、オープニングセレモニーによさこい踊りパフォーマンスや高知県イメージキャラクター「くろしおくん」のグリーティングを行うなど、楽しいイベントを通して、ご来館のみなさまには当館により親しみを持っていただけたのではないかと思います。

また、移住先の日系社会と移住者を送出した県とのつながりをテーマにした「移住者送出県」シリーズとして 2016 年度に開始した 企画展示「広島から世界へー移住の歴史と日系人の暮らしー」が 2017 年 5 月に終了した後、広島県の主催により同県内で 3 カ所、巡回展示をしていただきました。当館が位置する横浜だけでなく、日本の各地においても海外移住に対する理解を深めていただいたものと思います。

次世代を担う青少年を対象にした教育プログラムとしては、移住者や日系社会を身近に感じてもらえるよう、地域の博物館と連携した夏休みのスタンプラリーや「移民カルタ」遊びなど子供向けの親しみやすい催しを開催しました。特に6月18日の海外移住の日には、週末の二日間にわたって「移民スゴロク」・「移民カルタ」を活用したイベントを実施し、入口ではブラジル日系農家のコーヒー試飲会を開催するなど、当館ならではの企画も実施しています。

世界を見れば、現在も移住や移民は国際間の人的・文化的交流の橋渡しをしています。地元横浜市だけでなく、神奈川県にも多くの外国人の方々が住まわれています。日本人の海外への集団移住が始まって約150年が経ち、移住された方々が日本に戻り働くことが当たり前となった今、海外移住の歴史を知っていただける当館の役割が重要性を増している、と感じています。引き続き当館の活動へご支援・ご協力賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

JICA 海外移住資料館 館長 熊谷晃子

目 次

1.	展示イベント等	1
2.	情報システム	10
3.	資料等情報整備	11
4.	教育普及活動	12
5.	広報活動	21
6.	運営委員会及び学術委員会	23
7.	アンケート調査	27
8.	各種実績等	28

1. 展示イベント等

企画展示1 写真展「ハワイ日系人の歩み」

開催期間：6月24日（土）～9月18日（月・祝）

開催期間中入館者数：12,661名

概要：ハワイに渡った初期の日本人移民の暮らしや日系二世部隊の活躍など、ハワイ日系社会がたどった道のりを、二世ベテランレガシーが制作するハワイ日系社会の歴史を記録した写真約100点と解説文（日本語・英語併記）で構成するパネル26枚により紹介。あわせて、当館が所有するハワイ移民に関する標本および文書資料を展示した。



付帯イベント：オープニングセレモニー・イベント

実施日時：6月24日（土） 13:00～14:30

会場：企画展示室前

概要：企画展示オープンを記念してオープニングセレモニー・イベントを開催した。オープニングセレモニーの後、ウクレレ奏者のクウレイ・マモさんやフラチームを迎え、ハワイアン ミニコンサートを開催した。

- 式次第：
- ・主催者挨拶 JICA 横浜海外移住資料館館長 朝熊由美子
 - ・共催者挨拶 二世ベテランレガシー理事 ジョージ・アリネ
 - ・企画展示ご案内
 - ・クウレイ・マモとフラダンスチームによるハワイアン ミニコンサート



企画展示2 日本人メキシコ移住 120 周年記念企画展示 「メヒコの心に生きた移民たち」

開催期間：9月30日（土）～12月24日（日）

開催期間中入館者数：11,199名

概要：メキシコへの日本人移民は、榎本武揚により1897年に始められたいわゆる「榎本殖民団」が比較的知られているが、その全体像はほとんど伝えられていない。その一方で、大の親日国として知られるメキシコへの日本人移民の歴史は、南米のペルーやブラジルよりも古い。メキシコが親日国となった背景には、初期日本人移民が築き上げた信頼の礎があることを、その歴史の概要を紹介しつつ分かりやすく展示する。

「あかね記念館」（荻野正蔵館長）の全面的協力を得て、同館所蔵データを借用し17枚のパネルにまとめ、JICA活動紹介パネル2枚を合わせて19枚のパネルを作成。さらに、外交史料館所蔵外交文書やトランク等の標本資料を中央部に配し、移住先主要都市を示したメキシコ全体地図を展示場奥に掲示した。



企画展示3 「南国土佐をあとにして ー海を渡った『いごっそう』ー」

開催期間：2月10日（土）～5月27日（日）

開催期間中入館者数：5,341名（2018年3月末日現在）

12,573名（期間中総入館者数）

概要：高知県出身の著名な移住者に焦点を当てその背景とともに紹介する19枚のパネルを展示した。標本資料として、「マキキ聖城キリスト教会」および「カフェパウリスタ第一号箕面店」の模型、ブラジルへの日本人移民送出に奔走した水野龍が拓務・外務大臣宛てに送った書簡控え、竹村殖民商会の移民業務関係資料、ハワイ移民に関連する資料、および当館所蔵のパラグアイ移民関連資料を展示した。水野龍の三男龍三郎氏をはじめ、計6名のインタビューを視聴できるスペースを企画展示室奥に設置した。



付帯イベント：オープニングセレモニー・イベント

開催日時：2月10日（土）12:30～15:30

概要：企画展示初日にオープニングセレモニーを開催した。高知県物産展やよさこい踊りパフォーマンスを同時開催した。高知県イメージキャラクター「くろしおくん」のグリーティングを行った。

式次第：
・主催者挨拶 JICA 横浜海外移住資料館館長 朝熊由美子
・挨拶 高知県東京事務所長・高知県知事代理 近藤雅宏
・挨拶 南米友好親善高知県議会議員連盟会長 武石利彦
・企画展示ご案内
・よさこい踊りパフォーマンス
・高知県物産特別販売



巡回展示 1

巡回展示「広島から世界へ ―移住の歴史と日系人の暮らし―」

概要：当館で2017年3月4日から5月28日に開催した企画展示「広島から世界へ ―移住の歴史と日系人の暮らし―」の巡回展示が、広島県の主催により開催された。

会場①：県立美術館 県民ギャラリー（広島県広島市）

開催期間：10月3日（火）～15日（日）

会場②：県立歴史民俗資料館 ロビー（広島県三次市）

開催期間：12月12日（火）～24日（日）

会場③：県立歴史博物館 ロビー（広島県福山市）

開催期間：1月9日（水）～21日（日）

イベント1 「横浜ベイサイドビューポイントラリー」

開催日：3月18日（土）～4月9日（日）

概要：新港地区賑わい作り委員会による企画で、近隣施設（5か所）のスタンプを集めて応募し、抽選で賞品が当たるスタンプラリーイベント。当館は、スタンプ設置施設として参加した。

イベント2 「ゴールデンウィークイベント」

開催日：5月3日（水）～5月5日（金）

概要：企画展示「広島から世界へ-移住の歴史と日系人の暮らし-」に関連した広島物産展、キャラクター「ブンカッキー」による来館者へのグリーティングを行った。

イベント3 「ジミー・ミリキタニ ミニ絵画展」

開催日：5月12日（金）～28日（日）

概要：企画展示「広島から世界へ-移住の歴史と日系人の暮らし-」の関連イベントとして、広島出身の画家ジミー・ミリキタニの「ミニ絵画展」を実施した。絵画12点（坂本譲治氏所蔵9点、マサ氏所蔵3点）、写真4点（坂本譲治氏所蔵）及び解説パネル等を、常設展示場中央の特設コーナーに展示した。



イベント4 特別上映会「ミリキタニの猫<特別篇>」

開催日：5月28日（日）13:00-15:00

参加者：58名

概要：映画「ミリキタニの猫」と「ミリキタニの記憶」の2本を上映。上映後には、プロデューサーのマサ氏とミリキタニ研究家の坂本譲治氏によるミニトークを開催した。



イベント5 「ハワイ日系人の歩み」オープニングセレモニー・イベント

開催日時：6月24日（土） 13:00-14:30

概要：企画展示初日にオープニングセレモニー・イベントを開催した。オープニングセレモニーの後、ウクレレ奏者のクウレイ・マモさんやフラチームを迎え、ハワイアン ミニコンサートを開催した。

イベント6 「6月18日は海外移住の日」

開催日時：6月17日（土）～18日（日）

概要：6月18日の「海外移住の日」にちなみ、2日間にわたって「移民スゴロク」・「移民カルタ」を実施し、参加者には資料館オリジナルグッズをプレゼントした。また当館入口にてブラジル日系農家のコーヒー試飲会を開催した。



イベント7 「大江戸ハワイフェスティバル2017」

開催期間：7月7日（金）～9日（日）

概要：ベルサール東京（日本橋）で開催された大江戸 HAWAII FESTIVAL にパネル展示出展。2012年に開催した特別展示「ハワイに生きる日系人－受け継がれる日本の心－」と2016年に開催した企画展示「ハワイの日系人のまつり－お正月とボンダンス」より抜粋し再校正したパネルを会場内スペースに展示した。



イベント8 「ミュージアム・ミッション2017 ～博物館からの挑戦状～」

開催期間：7月22日（土）～8月31日（木）

概要：神奈川県立歴史博物館主催による、近隣参加館6館が出題するミッションを解いていくイベント。全館ミッション達成の方には全館賞（ピンバッジ or ルーペ＋各館オリジナルグッズ）をプレゼントした。

イベント9 「子どもアドベンチャー2017」

開催日時：8月17日（木）～18日（金）

概要：横浜市教育委員会主催の子どもアドベンチャー2017に参加した。
17日は「カルタで遊んでタイムスリップ!」と題し、移民カルタで遊びながら、移住について学ぶプログラムを実施した。参加者には資料館オリジナルグッズをプレゼントした。
18日は「ミニ資料館を作ろう!」のプログラムを実施。自分で資料を選び、解説文を作成、資料写真を撮ってパネルにして展示発表する企画。参加者には「資料館ジュニア・スタッフ認定証」と「記念写真」をプレゼントした。

イベント10 「JICA×HAWAII SUMMER EVENT!」

開催日：8月19日（土）13:00-16:00

概要：開催中の企画展示「写真展 ハワイ日系人の歩み」に関連した、夏休みイベントを開催した。日系三世ウクレレ奏者クウレイ・マモ氏とクウレイバンドによるハワイアンミュージックの演奏、「Halau Hula O Nani Alohi」（ハラウ・フラ・オ・ナニ・アロヒ）によるフラダンスショー、かき氷の無料配布イベント、また資料館教育教材の紙芝居読み聞かせや企画展示の特別ガイドツアーを開催し、ハワイと日本のつながり・歴史を紹介した。



イベント11 「JICA横浜 館内ツアー」

開催日：8月24日（木） 14:00-15:00

参加者：8名

概要：「ミュージアム・ミッション2017」関連イベントとして、ミッションであるパスポートのワークシートを解いてから、資料館バックヤードをはじめとした館内全体を

見学する企画。参加者には資料館オリジナルグッズをプレゼントした。

イベント12 「累計入館者数50万人達成記念式典」

開催日：8月24日(木)

概要：海外移住資料館 来館者数が50万人を達成したことを記念して式典を開催。50万人目となった、横浜市神奈川区にある神奈川学園中学校から来館した女子中学3年生6名と引率の先生1名に50万人記念証明書と記念品を贈呈した。



イベント13 「よこはま国際フェスタ 2017」

開催日：10月7日(土)～9日(月)

参加者：2,362名

概要：同フェスタにブース出展した。ブース内には当館紹介パネルや企画展示ポスター、教育プログラムの資料や貸出教材を展示した。ブース前では日系社会で開催されている UNDOKAI の種目である「ビン釣りゲーム」を開催し、参加者にはゲーム景品として資料館オリジナルグッズをプレゼントした。

イベント14 「第10回 宝島ハロウィン」

開催日時：10月28日(土) 11:00-16:00

参加者数：743名

概要：新港地区賑わいづくり委員会が主催する近隣施設との共同企画・開催イベント。バルーンアートの設置(入口前)や館内装飾および仮装してきた方へお菓子を配布した。なお、野菜山車の前に設置した写真撮影スポットでは、来場記念に写真撮影される方が多く好評であった。



イベント15 「海外移住資料館 クリスマスイベント」

開催日：12月5日(火)～24日(日)

概要：日本人が移住した国々の中から好きな国の国旗をツリーに飾り裏面にコメントを記入してもらった。また資料館内に撮影スポットを設置し、クリスマスの雰囲気を演出した。期間中に資料館を見学した小学生以下の子どもたちに南米のお菓子をプレゼントした。



イベント16 「JICA横浜 新春イベント」

開催日：1月20日(土) 11:30-15:00

概要：JICA横浜全体で餅つきや世界の遊びなどを体験できる新春イベントを開催した。1階エントランスロビーでは、餅つき体験・餅振る舞い(海外移住資料館パスポート持参の先着300名様限定)・絵本読み聞かせ会・クイズ大会・インド古典舞踊を、2

階JICAプラザでは、世界の遊び、正月遊び（お手玉・おはじき・福笑い）などを開催。当館は資料館オリジナルの移民カルタ・移民スゴロク遊びを開催した。

イベント17 「よこはま国際フォーラムコラボ企画！」

開催日：2月3日（土）～4日（日）

概要：2月3日（土）、4日（日）のよこはま国際フォーラム開催期間中の来館者に対し、中南米のお菓子をプレゼントした。



イベント18 企画展示「南国土佐をあとにして-海を渡った『いごっそう』-」オープニングセレモニー・イベント

開催日：2月10日（土）12:30-15:30

概要：企画展示「南国土佐をあとにして-海を渡った『いごっそう』-」の開催を記念して、オープニングセレモニーおよび物産展、着ぐるみ、よさこい踊り演舞のイベントを開催した。

公開講座 1

「パラグアイの魅力」

開催日：4月22日（土）14:00-15:30

講師：前原弘道（パラグアイ日本人会連合会 会長）

受講者数：71名

概要：開催中の企画展示「広島から世界へ移住の歴史と日系人の暮らし」の関連イベントとして、首都アスンシオンから南東へ30kmのイタ市に御影城（みかげじょう）を建設した、パラグアイ日本人会連合会の前原弘道会長による公開講座を開催した。パラグアイに日本の城を建てた動機や、パラグアイの魅力についてお話を伺った。



公開講座 2

「ハワイ移民の源流 広島県」

開催日：5月13日（土）14:00-15:30

講師：川崎壽（ハワイ移民資料館 仁保島村館長）

受講者数：59名

概要：広島展関連公開講座第二弾として、ハワイ移民資料館仁保島村館長である川崎壽氏に講演頂いた。なぜ広島県が全国第一位の移民県となったのか、ハワイはなぜ移民を必要としたのかなど、官約移民を中心としたハワイ移民の歴史についてお話を伺った。



公開講座 3

特別上映会「二つの祖国で 日系陸軍情報部」 & トークイベント

開催日：7月30日（日）13:00-16:00

講師：すずきじゅんいち（映画監督）、バーンズ・ヤマシタ「ハワイ日系人の歩み」実行委員長

受講者数：141名

概要：太平洋戦争時、日本とアメリカで差別を受けた日系二世たちの知られざる歴史に迫るドキュメンタリー「二つの祖国で 日系陸軍情報部」の特別上映を開催した。上映後はすずき監督およびバーンズ・ヤマシタ氏によるトークイベントを行った。



公開講座 4

特別上映「Go for Broke! -ハワイ日系二世の記憶-」
& トークイベント

開催日：8月27日（日） 13:00-16:00

講師：松元裕之(映画監督)

受講者数：102名

概要：要：プランテーション時代の日系移民の様子や、移民差別、第二次大戦時における厳しい戦闘体験、戦後のハワイ社会への貢献など、ハワイの日系二世へのインタビューを通して「ハワイに残るもう一つの日本史」を映し出したドキュメンタリー「Go for Broke! -ハワイ日系二世の記憶-」を上映した。上映後には、松元裕之監督のトークイベントを行った。



公開講座 5

日墨関係史と日本人移住の意義

開催日：11月18日（土） 13:30-15:00

講師：川路賢一郎(メキシコ移住研究家・元 JICA
メキシコ事務所長)

受講者数：55名

概要：要：メキシコ移住研究家で元JICAメキシコ事務所長の川路賢一郎氏をお招きし、メキシコへの日本人移民史を通じた日本と親日国メキシコとの関係について講演いただいた。



公開講座 6

映画「100年の鼓動ーハワイに渡った福島太鼓ー」
上映と岩根愛ミニトーク
(「よこはま国際フォーラム 2018 内プログラム」)

開催日：2月3日（土） 13:10-15:00

講師：岩根愛(写真家)

受講者数：32名

概要：要：ハワイで先祖から受け継いだ「フクシマオンド」を演奏し、次世代に継承する和太鼓グループ「マウイ太鼓」に密着して、ハワイ日系人のたどってきた道のりとともに描いたドキュメンタリー「100年の鼓動」を上映。上映後、ハワイと福島をつなぐ活動を行っている写真家の岩根愛氏によるトークイベントを開催した。



2. 情報システム

1) 情報検索システム

(1) 情報検索システム運用

図書資料室（海外移住）で実施される各種レファレンスサービスと連携して、当資料館の収蔵資料について情報を整備し、情報検索システムを通じて館内、館外へ検索サービスを提供した。2017 年度末時点登録数：29,436 件（うち図書類：21,215 件、標本類ほか：8,221 件）。

URL: <http://search.jomm.jp/>

(2) 登録データの整備

2017 年度は既に登録されている書誌情報の修正、不足情報の追加等を行った。また、図書の複本処理を行い、データを統合させた。登録情報の照合・確認・修正件数は 1,440 件。

2) 海外移住資料館 web ページコンテンツ

(1) 移住資料所蔵機関情報

国内及び海外における博物館、図書館、研究機関その他団体等のうち、「日本人の海外移住の歴史」に関する資料を所蔵・公開している機関について、情報提供するコンテンツを製作。移住資料所蔵機関の所在地、所蔵資料の概要、過去の展示実績等の情報を集約し、多くの皆様に提供することを目的としている。引き続き、関係諸機関の皆様より情報提供等の協力をいただき、順次追加していく予定。

URL: <https://www.jica.go.jp/jomm/shozokikan/index.html>



(2) JICA 横浜 海外移住資料館 研究紀要

当館で行われた学術研究の成果を広く社会に発信することを目的として、2006 年より刊行している『研究紀要』について、PDF 版を製作し、当館 Web ページにて公開した。

URL: <https://www.jica.go.jp/jomm/kiyo/index.html>



3. 資料等情報整備

1) 資料の受入・収集

海外移住に関連する図書、標本等各種資料を寄贈、購入、取得等の方法で収集した。資料受入は1,112件。登録総件数は43,460件。

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
取得	21	60	10	49	140
購入	65	16	13	24	118
寄贈	44	63	136	54	297
移管	0	0	0	2	2
既存資料	36	80	290	149	555
寄託	0	0	0	0	0
受入合計	166	219	449	278	1,112

2) 資料の整理

(1) 海外移住事業に関する所蔵資料の整備（移住申込書データベース）

移住申込書の物理的整理作業が2011年11月に終了したことを受け、2012年度より移住申込書のデータベース構築作業が開始された。データ入力、確認作業を実施し、データ（文字情報、画像）の不備、修正等があった場合には、その都度実物資料と照合し、適宜修正等を行った。

2017年度は、秋田県国際交流協会旧蔵資料に含まれる移住申込書についても整理作業を実施。さらに、海外移住センター旧蔵資料のうち業務簿冊に含まれる移住申込書についても確認を行い、整理作業を開始した。なお、本作業は慶應義塾大学文学部 柳田研究室の協力を得て実施している。

(2) 伊藤一男関連資料

伊藤一男（元読売新聞記者、『北米百年桜』著者。寄贈資料は北米日本人移住者関連）資料の概要入力作業を実施。

(3) 図書資料等

登録済み図書資料を対象とした書誌情報の追加入力、複本確認作業を行った。

(4) その他

収蔵品のうち未整理となっている資料について、柳田学術委員の指導・助言のもと、状況確認、整理作業の優先順位及び初期作業の方向性を策定、資料の仮区分を行い、仮整理作業を開始した。

4. 教育普及活動

1) 教育プログラムの概要

当館では、日系移民に関する資料の収集、保存、展示、研究活動のほか、設立趣旨にあるように移住者たちの足跡や役割について多くの人々に伝え、理解を深めてもらう役割を担っている。また、特に若い世代の人々に、多文化共生社会を生きる一員として、あるいは開発教育の視点からも、一人ひとりに移住者からのメッセージを受け止めてもらいたいとの思いから、開館当初より、教育普及活動に積極的に取り組んでいる。

現在、日本においても外国から多くの人々が移り住み、多文化社会が進展してきており「多文化共生」が教育の分野においても大きな課題になっている。そこで、日本人の海外移住の歴史と日系人の生活について展示を行っている当資料館では、そのような課題に応え、教育関係者を対象として、指導者向けの解説書である「学習活動の手引き」作成をはじめとし、教材開発やボランティアによる展示ガイド等、多様な教育プログラムを実施している。

今後、世界の移民人口はますます増加すると予想されている。このような21世紀の世界の中で、グローバルな価値の実現をめざして行動できる地球市民としての資質に加え、多文化社会の中で異なる文化を受容、尊重し、共生へ向けて行動できる市民としての資質という両方の育成が求められている。当資料館の教育プログラムを「共生にむけて」社会参加ができる子どもたちの育成のために活用いただければと考えている。

表：海外移住資料館の学習教材

【学習活動の手引き】無料配布 この手引きには、移民について学ぶことの意義が記され、その意義に沿った、海外移住資料館の展示及び各種教材を活用したいくつかの授業構想が含まれている。学校の先生方はもとより、NGO/NPO 関係の方々への授業づくりやワークショップの際の参考として利用できる。	
【移民カルタ】貸出可 日本人の海外移住の歴史、移住者の生活や心情、日本に住む日系人の生活や思いなど、子どもたちに知って欲しい移民に関するさまざまな事柄を、遊びを通して楽しみながら学ぶことができる。	
【日本-ブラジル移民カルタ】貸出可 このカルタは、単に日系ブラジル人の歴史や文化を学ぶだけではなく、日系ブラジル人の継承日本語教育の学習教材としても活用できるよう、日本語とポルトガル語の解説が併記されるなど、様々な工夫が凝らされている。(制作：移民カルタ研究会)	

【移民スゴロク】貸出可

このスゴロクは、日本人のブラジル移住および移住一般に関して学ぶことを目的としている。クイズとしても遊べるようになっている。小学生高学年以上対象。



【紙芝居】貸出可

絵や写真、そしてわかりやすい言葉で書かれた物語を通じ、移住者の歴史的経験や心情、日本に暮らす日系人の生活や思いを共感的に理解することができる。全4種類。

- (上段左) 海を渡った日本人
- (上段右) カリナのブラジルとニッポン
- (下段左) ハワイに渡った日系移民
- (下段右) 弁当からミックスプレートへ



【いみんトランク】貸出可

いみんトランクは、国際的な人の移動から多文化共生を学ぶことのできる教材として、また、日本と世界をつなげていく教材として、移民に関する授業や事前学習のサポートを目的に貸し出ししている。移住者の歴史や経験、貢献などにかかわるハンズオン教材として、以下の教材を用意している。

- ・野菜山車（画像・トピックシート有）
- ・ハワイ移民労働着
- ・弁当缶
- ・笠戸丸画像
- ・パールハーバー当日の新聞
- ・太平洋戦争終戦を伝える新聞
- ・さとうきび
- ・ミックスプレート（トピックシート有）
- ・移住幹旋ポスター
- ・ジュート
- ・コショウ
- ・綿花
- ・コーヒー
- ・コーヒー用麻袋
- ・日系人が栽培している野菜
- ・サクラ醤油
- ・ハワイ盆踊り手ぬぐい
- ・ロコモコ（トピックシート有）
- ・スパムセット
- ・Tシャツ（日系コミュニティのイベント等で使用されたもの）
- ・ブラジルの和菓子（やぶれまんじゅう、あんぱ



【ハワイ移民労働着：
ハナハナウェア】

【ミックスプレート、弁当缶、さとうきび】



【パールハーバー当日の新聞】



ん、詰め合わせ、緑茶もち、金澤製菓画像。トピックシート有) ・ブラジル南米神宮のお守り (南米神宮画像、トピックシート有) ・ハワイのビッグファミリー (画像) ・ブラジルの米 ・ブラジルの干柿 これらの教材を実際見て、手に取ることで、日本人移民の歴史と経験について何かを感じ取り、学習効果が高まることを期待している。 なお、トピックシートに関してはホームページ上からダウンロード出来るよう対応されている。	【ブラジルの和菓子】 
【定点解説キット】 日本からの移住者が運んだトランクを再現したもの、当時の移住先国での暮らしを紹介するものなど、10のキットがある。直接体験を通して展示をより実感して理解することが可能となる。本キットは、常設展示案内時に使用している。 ・サトウキビ畑の生活・仕事 (麦わら帽子、手ぬぐい地の帽子、軍手、写真パネル等) ・ミックスプレート (写真パネル) ・スーツケース (写真カード入小箱、トランク等) ・移住物語 (写真アルバム、複製パスポート) ・花と製品あてゲーム ・農作業具 (写真パネル) ・日系商店 (萬屋の品揃えアルバム、エプロン等) ・日系人の食卓 (写真アルバム) ・イグアス (空撮写真、アルバム等) ・宝さがし (中高生向写真カード、ゾーンマップ)	
【映像教材】貸出可 日本人の海外移住の歴史に関する映像教材。以下6種類は貸出も行っている。 ①DVD「子供たちの百年 ブラジルに渡った少年少女は、今！」(制作：2008年、53分) ②DVD「アマゾンに挑んだ草創の日本人」(制作：2009年、85分) ③DVD「JICA 横浜 海外移住資料館」(制作：2009年、11分) ④DVD「夢と希望を運んだ船 ～移住船での暮らし～」(制作：2009年、5分) ⑤DVD「100年の鼓動 ―ハワイに渡った福島太鼓―」(制作：2011年、57分) ⑥DVD「誰も知らない日系アメリカ人の歴史」※(制作：2013年、40分) ※本映像教材は『二つの祖国で・日系陸軍情報部』などで知られるすぎきじゅんいち監督より寄贈を受けた。	
【パスポート】 当館概要、海外移住の歴史、ワークシート、来館記念スタンプ用紙などを一つの冊子にまとめ、作成した。学生はもとより一般来館者へも配布し、展示のねらいに即した見学を支援するとともに、見学後、見学した内容を簡単に振り返る事が出来るよう工夫されている。	

【パワーポイント教材】

海外移住の歴史、移住者の貢献、経験、さらに日本における在日外国人の状況にも思いを寄せられる内容となっている。対象は小学生以上。1時間以上の見学時間を予定している学校関係者を中心に、要望に応じて活用している。

2) 教育プログラムの実施

教育機関の団体入館児童・生徒、学生を主な対象として、ガイドランス（概要説明）、パスポートや学習教材を使用したプログラム、質問事項への対応等を実施した。本年度の教育プログラム実施件数は231件、総受講者数は9,317名となった。四半期毎の実施教育機関は以下のとおり。



【教育プログラム実績】

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
件数	70	64	54	43	231
総受講者数	3,844	1,975	2,239	1,247	9,305

※件数は、実際にプログラムを実施した数。同じ教育機関が複数回受講したケースもあり。

【教育プログラム受講教育機関】

(1) 第1四半期：

	団体名	団体数	受講人数
小学校	深谷市立深谷小学校、	1	118
中学校	盛岡市立見前南中学校、奥州市立水沢中学校、横須賀市立北下浦中学校、亀岡市立南桑中学校、仙台市立台原中学校、岐阜市立境川中学校、湖南市立甲西北中学校、座間市立東中学校、平塚市立中原中学校、横浜女学院中学校、四日市市立西笹川中学校、神奈川県立相模原中等教育学校、平塚市立浜岳中学校、愛知県海部郡大治町立大治中学校、横浜市立潮田中学校、伊賀市立崇広中学校、川崎市立日吉中学校、市原市立五井中学校、愛知県清洲市立新川中学校	21	1,540
高等学校	神奈川県立大和西高等学校、神奈川県立伊志田高等学校、東京都立成瀬高等学校、東京都立城東高等学校、神奈川県立足柄高等学校、市原中央高等学校、大東文化大学第一高等学校、創価高等学校、神奈川県立磯子工業高等学校定時制	9	915
大学・専門学校	日本大学国際関係学部、東海大学教養学部国際学科、お茶の水女子大学、上智大学国際教養学部、千葉商科大学、松蔭大学、恵泉女学園大学フジオカゼミ、神奈川大学学芸員課程、多摩大学グローバルスタディーズ学部、日系次世代育	9	229

	成研修(大学生)		
その他	2017 年度 春募集 体験談&説明会参加者、伊勢原平成ロータリークラブ、リタリコワークス横浜東口、ライトセンター英会話クラブ、日系社会ボランティア派遣前訓練（ブラジル派遣者向け）、太子堂生涯学習 OB 会、川崎市観光協会、神奈川県警察学校、アジア開発銀行年次総会（ADB）参加者、幕張地元学同好会、日系研修オリエンテーション、SV の経験を生かす会、船橋市国際交流協会、第一三共ファーマ労働組合平塚支部、かもめ SCHOOL、川崎市宮前区観光協会、よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト参加者、福島県国際課	30	1,042
合計		70	3,844

(2) 第 2 四半期：

	団体名	団体数	受講人数
小学校	横浜山手中華学校、常総市立水海道小学校、横浜市鉄小学校、横浜市立飯田北いちよう小学校、横浜市立藤が丘小学校、横浜市立つつじが丘小学校	6	407
中学校	慶應義塾普通部英語研究会、神奈川学園中学校、川崎市立川崎高等学校附属中学校、神奈川学園中学校、横浜市立南高等学校附属中学校、神奈川大学附属中学校、捜真女学校、文教大学附属中学校、関東学院六浦中学校、公文国際学園中等部	14	278
高等学校	横浜商業高等学校、神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校、横浜創学館高等学校、清泉女学院高等学校、横浜隼人高等学校、神奈川県立横浜国際高等学校、日亜学院、アレセア湘南高等学校、横浜翠嵐高校定時制	10	480
大学・専門学校	フェリス女学院大学、東海大学教養学部人間環境学科社会環境課程、北里大学、拓殖大学、立教大学社会学部現代文化学科太田ゼミナール、横浜市立大学、神戸親和女子大学梶山ゼミ、千葉大学藤川研究室、麻布大学 JST さくらサイエンスプラン招聘者グループ、常葉大学、共愛学園前橋国際大学大嶋ゼミ、ワシントン大学、	12	212
その他	中央市国際交流協会、Instituto Educacional TS Recreção、コンGRES エクスプレス、日系研修オリエンテーション、横浜市役所財政局、国際ロータリー第 2590 地区インターアクトクラブ、調布市小学校社会科研究会、ラプラタ日本人会、厚生労働省インターン生、横浜市健康	22	598

	福祉局、開発教育教員向け研修、ハワイ観光局 アロハプログラム事務局、中区役所人権研修グ ループ、銀世界、ほどがやめぐり隊、サークル 史の会、2017 年秋募集体験談&説明会参加希望 者、放送大学神奈川学習センター		
合計		64	1,975

(3) 第 3 四半期：

	団体名	団体数	受講人数
小学校	さいたま市立徳力小学校、横浜市立岡津小学 校、横須賀市立神明小学校、横浜市立日下小学 校	4	325
中学校	常総市立水海道中学校、藤沢市立羽鳥中学校、 川崎市立はるひ野中学校、佼成学園中学校、鎌 倉学園中学校	5	592
高等学校	麻布高等学校、御殿場南高校、駿台学園高等学 校定時制、神奈川県立上溝高等学校、クラーク 記念国際高等学校、神奈川県立川崎高等学校、 熊本農業高等学校	7	352
大学・専門 学校	早稲田大学 ICC、明治学院大学社会学部安井ゼ ミ、恵泉女学園大学フジオカゼミ、慶應大学国 際センター、多摩大学グローバルスタディーズ 学部、北里大学、専修大学文学部井上ゼミナール	7	158
特別支援	横浜市立上菅田特別支援学校	1	20
その他	日系研修オリエンテーション、Escola Opção、 沖縄金武町役場、日本セカンドライフ協会、日 系社会ボランティア派遣前訓練（ブラジル派遣 者向け）、そくせん会、横浜市港南区役所、横 浜市財政局（人権研修）、緑ヶ丘 2 丁目自治会、 2017 年秋募集体験談&説明会参加者希望者、安 管・道適・推進協会、横浜市旭区役所、外務省 次世代日系指導者会議招聘者、神奈川県警察学 校、横浜市中区役所（人権研修）、柏市西原地 区民生児童委員、志木市生涯学習課（人権研 修）、三菱人権啓発連絡会、横浜市こども青少 年局（人権研修）、カケハシ・プロジェクト日 系アメリカ人第 1 陣、船橋市飯山満公民館、台 北駐日経済文化代表処（移民署）	30	792
合計		54	2,239

(4) 第 4 四半期：

	団体名	団体数	受講人数
小学校	横須賀市立鴨居小学校、横浜市立永田台小学校	2	130
中学校	目黒区立第十中学校、中野区立緑野中学校、世 田谷区立船橋希望中学校、大田区立蒲田中学	10	351

	校、大田区立石川中学校、世田谷区立深沢中学校、聖セシリア女子中学校、開智中学校、横浜市立仲尾台中学校、荒川区立第七中学校		
高等学校	神奈川県立横浜旭陵高等学校、兵庫県立国際高等学校、明和県央高等学校、クラーク国際記念高校 所沢キャンパス	4	104
大学・専門学校	目白大学社会学部（エスニックメディア論）、横浜市立大学、お茶の水女子大学、城西国際大学、神奈川大学	6	127
特別支援	横浜市立上菅田特別支援学校、平塚市適応指導教室	2	48
その他	国際理解教育/開発教育教員セミナー参加者、日系研修オリエンテーション、日系次世代育成研修(中学生)、日系次世代研修生(高校生)、アスンシオン日本語学校・日本パラグアイ学院、日系研修(婦人部)、外務省中南米日系人招へい事業、ハワイ州観光局アロハプログラム、平塚市地域婦人団体連絡会、海老名市中新田連合自治会、湘南鎌倉生涯現役の会、神奈川県警察学校、カケハシ・プロジェクト日系米国人第2陣、Juntos!!SICA・キューバグループ、0324JTD うぐいす、日系スカラシップ留学生、日本太鼓財団	19	487
合計		43	1,247

【プログラム例 大学生向け（2時間）】

- ① 日本人の海外移住史と日系人のアイデンティティ
- ② 在日ブラジル人・デカセギ・日系ブラジル人に関する概要説明
- ③ 日本人の海外移住の歴史と海外日系コミュニティに関する講義



【プログラム例 高校生向け（2時間）】

- ① 日本人の海外移住について解説
- ② ハワイと日系人に関する概要説明
- ③ 移住の歴史と在日日系人について講義
- ④ パスポートを活用した資料館見学

【プログラム例 中学生向け（1.5時間）】

- ① 日本人の海外移住、横浜と海外移住との関わりについて解説
- ② パスポートを活用した資料館見学



【プログラム例 小学生向け（30分～1時間）】

- ① カルタで宝探し（カルタにある資料を探し解説を受ける）

② パスポートを活用した資料館見学

3) ボランティア管理運営

(1) ボランティア活動の概要

当館では、以下の業務をボランティアが実施している。

① 展示案内ボランティア活動

常設展示室、企画展示室内での展示案内を中心に活動している。2017 年度末時点で、登録者数は 22 名。なお、展示案内ボランティアの配置状況は以下のとおりとなっている。

- ・ 第 1 四半期：231 人配置（77 開館日、平均 3.0 人配置）
- ・ 第 2 四半期：234 人配置（79 開館日、平均 3.0 人配置）
- ・ 第 3 四半期：229 人配置（76 開館日、平均 3.0 人配置）
- ・ 第 4 四半期：226 人配置（75 開館日、平均 3.0 人配置）

② 資料整理ボランティア活動

2017 年度末時点の登録者数は 8 名。

(2) ボランティア研修会等の実施

ボランティアのスキルアップを目的とした研修を実施。また、連絡会議を開催し、情報の共有および今後の活動についての意見交換を行った。2017 年度はそれぞれ以下のとおり実施した。

① ボランティア研修会

- ・ 独立行政法人 国際協力機構 概要

日時：6 月 23 日（金）

参加者：19 名

- ・ 新規ボランティア向け 基礎研修会

日時：6 月 29 日（木）

参加者：2 名

- ・ JICA 訪問プログラム研修

日時：9 月 29 日（金）

参加者：16 名

- ・ 渋沢史料館、紙の博物館視察

日時：11 月 14 日（火）

参加者：8 名

- ・企画展示 南国土佐をあとにして-海を渡った「いごっそう」- 内覧会
日時：2月9日（金）
参加者：11名

② ボランティア連絡会議

- ・第1回 6月23日（金）開催 参加者：19名
- ・第2回 9月29日（金）開催 参加者：16名
- ・第3回 3月30日（金）開催 参加者：16名

5. 広報活動

1) 広報紙「海外移住資料館だより」発行

当館広報紙として「海外移住資料館だより」を、2017年度は4回発行。企画展示の内容をテーマに、展示内容及び収蔵資料等を紹介した。発行部数 7,000 部。

主な配布先は、都道府県国際交流課及び国際課、教育委員会や、各国大使館、図書館、博物館、神奈川県立高校、横浜及び川崎市内小中学校、国際教育研究協議会加盟校、外国人集住都市の国際交流協会など、約 2,000 件。その他、常設展示スペース等で随時配布している。

No.	発行	コンテンツ
46	2017 年 6 月	特集 写真展 ハワイ日系人の歩み/海外の邦字新聞より
47	2017 年 9 月	特集 日本人メキシコ移住 120 周年記念企画展示 メヒコの心に生きた移民たち／TOPICS
48	2018 年 2 月	特集 南国土佐をあとにして―海を渡った「いごっそう」―／TOPICS
49	2018 年 3 月	特集 南米の邦字紙～ブラジル、ペルー、アルゼンチン日系社会の日本語新聞



No.46



No.47



No.48



No.49

2) 一般広報

JICA 横浜が行う広報事業等と連携しつつ、当館の入館者数増を目指し、地域で行われるイベント等への参加、広報媒体への掲載など、以下のとおり実施した。

(1) 外部媒体への掲載

神奈川新聞／東京新聞／読売新聞／毎日新聞／産経新聞／福島民報／中外日報／岩手日報／サンパウロ新聞／ニッケイ新聞／TBS／TVK／読売テレビ／JCOM／ケーブルテレビイツコム／アルテルナティーバ／ラジオ日本／横浜市・神奈川新聞 雑誌「横濱」／横浜 STORY／東京散策乗物ガイド／横浜市暮らしのガイド／M i r e a／メトロガイド／アートナビ／タウンニュース／URBAN／歩く地図 鎌倉・横浜散歩／はまっぶワイド／横浜ビクターズガイド／横浜ベイシティ交通マップ／MEGA BRASIL／横浜市観光情報公式サイト／YMM21 公式サイト等

3) 開催広報

JICA 横浜が行う広報事業等と連携しつつ、当館常設展示及び企画展示、公開講座、その他イベントに関する広報活動を積極的に行うため、広報素材作成と頒布、表示類の作成、プレスリリースの配信等、適宜開催広報を行った（NHK、TVK、共同通信社、時事通信社、神奈川新聞、毎日新聞、読売新聞、朝日新聞、東京新聞、日本経済新聞、産経新聞、県政記者クラブ、横浜市政記者室、ニッケイ新聞、サンパウロ新聞、JCOM、ラジオ日本、フリーペーパー各紙、各種イベント広報 web サイト等）。また近隣博物館、商業施設、宿泊施設等へ、広報物の掲出・設置等依頼した。

4) 海外移住資料館「友の会」

海外移住資料館「友の会」は、「日本の海外移住の歴史」や「日系人」、「多文化理解・共生」などのテーマに興味・関心のある方々へ関連情報を発信するとともに、当資料館利用者数の増加を図ることを目的に設立された。

活動内容は当館で実施する事業やイベントの案内、海外移住の歴史や日系人、多文化理解といったキーワードに関連する情報の発信等となっている。

情報発信のツールとして、メールマガジンを利用し、2017 年度は計 12 回配信した。メールマガジンは月 1 回の配信を基本とし、配信している。

会員登録には、メールマガジンの配信登録を利用し、2017 年度末時点で、友の会会員は DM 会員：307 名、メール会員：1,015 名となった。

6. 運営委員会及び学術委員会

1) 運営委員会

海外移住資料館の運営方針、事業計画、学術事項等運営に関する重要事項について専門的な見地から議論・検討することを目的とし、運営委員会を設置している。

2) 学術委員会

海外移住資料館における学術研究に係る企画・実施協議・評価・交流を行うことを目的として、2006 年度に海外移住資料館学術委員会を設置した。同委員会は、学識経験者、JICA 横浜所長（海外移住資料館長）により構成される。

【2017 年度 学術委員会開催】

- ・ 第 1 回学術委員会（7 月 27 日）
- ・ 第 2 回学術委員会（12 月 20 日）
- ・ 第 3 回学術委員会（3 月 9 日）

【2017 年度 学術委員】

委員長	飯野正子	津田塾大学顧問・名誉教授
委員	島田法子	日本女子大学名誉教授
	中牧弘允	吹田市立博物館館長、国立民族学博物館名誉教授
	森茂岳雄	中央大学教授
	柳田利夫	慶應義塾大学教授
	朝熊由美子	JICA 横浜所長（海外移住資料館長）

3) 学術研究プロジェクト

学術委員会において企画・検討された以下の 4 プロジェクトが、2015 年度より 3 年間実施された。学術研究プロジェクトの研究概要は以下のとおり。

(1) 「第二次世界大戦直後に日本に『送還』された日系カナダ人（約 4,000 人）のその後」

【概要】1942 年、カナダ政府は、カナダ西海岸に居住していた 21,000 人の日系カナダ人を敵性外国人として内陸部に強制移動した。それらの日系人は、戦後、カナダ政府の通達により、カナダに留まる者は「ロッキー山脈の東」へ移動、さもなくば日本に「送還」という二者択一的な選択を迫られた。ロッキー山脈の東への移動を拒否した日系人は、カナダ生まれの日系人であっても日本に送られることになり、これは「国外追放」であると言われ、大きな混乱を生んだ。結果的には、約 4,000 人の日系人が日本に送られたとされている。彼らが戦争直後の日本でどのように受け入れられたか、その後、定着したか、あるいはカナダへ戻ったか、の全容は、これまで明らかにされていない。ここに提案する調査・研究により、日系カナダ人の歴史の重要な一幕が明確に示されると同時に、彼らが日本との絆をどのように意識していたか、そして彼らを介しての日本とカナダの関係がどのようなものであったか、などが、明

らかにになると期待される。

【プロジェクトリーダー】飯野正子（津田塾大学顧問・名誉教授）

(2) 海外移住 150 年を振り返る：移動する人の視点からみる国際関係

【概要】本研究は日本人海外移住 150 年の歴史をグローバルヒストリーの文脈に位置づけつつ、移動する人の視点から複雑で多様な移動の状況について再検討を行うものである。2017 年度は、下記 4 つのテーマについて、これまで収集してきた新しい史・資料を精査し、特に、A・D に関しては、フォローアップのための国内調査を行い、史・資料の全体像を提示する。

A: 若松コロニー以降の米国西部日系人コミュニティの文化変容

B: 米国東部日系人コミュニティの変容

C: 国際関係と個人史の交錯

D: 新たな史・資料からみる日本人移住

【プロジェクトリーダー】菅 美弥（東京学芸大学教授）

(3) 移住資料ネットワーク化プロジェクトの充実と拡張（第二期）

【概要】2012～2014 年度にかけて実施された学術研究プロジェクト「移住資料ネットワーク化プロジェクトの充実と拡張」に引き続き、2015～2017 年度にかけて、第二期として、既に完成・稼働しているネットワーク上の基本的なプラットフォームを活用することで、以下の具体的な目標を据えて調査・研究活動を継続することとする。

A: 移住者検索システム

PIONEROS の呼び寄せ移民期（1923-1941）への拡張（2014 年度より継続）

戦後海外移住者の国別 PIONEROS の作成のための基礎作業と将来的な公開

PIONEROS のシステム上の問題点の改善

B: デジタルミュージアム

他地域、他資料館・博物館とのネットワーク化推進

既存デジタル展示の拡充、常設展示以外の特別展示等への対応・拡張

C: 邦字新聞デジタルアーカイブ

「ペルー新報」の情報量拡充と web サイトにおける公開に向けた技術的問題の検討

本資料館架蔵の各種邦字新聞の公開へ向けた基礎作業

D: その他

【プロジェクトリーダー】柳田利夫（慶應義塾大学教授）

(4) 在日ラテン系二世の多角的分析

【概要】南米日系人の日本へのデカセギ現象がブームとなってからすでに四半世紀が経過した。この間、デカセギ現象をめぐるさまざまな研究成果が蓄積されてきたが、その多くが「移民研究」あるいは「日系人研究」の延長線上で、教育・言語・文化といった側面に生じている具体的な「問題」とその「解決」、そして多文化共生といった方向性から彼ら／彼女らをとらえてきた。しかし、現状を見渡すと、そういった範疇ではもはやとらえきれないかたちで、日本・南米、もしくは両地をまたにかけて、あるいは越境という概念そのものさえも超えてゆきつつ成長しているデカセギ二世世代の存在が、次第に浮かびあがってきている。

本プロジェクトでは、日本デカセギ 25 年の節目（プロジェクト初年次時点）にあたり、これまでの研究成果を受け止めつつ、デカセギ二世世代の成長と、少子高齢化時代を迎えた日本という事実を背景に、デカセギ 25 年を経て生じつつある現象の意味と、これまでのように、一国単位の接続可能性により移民を議論することの危うさを捉え直し、越境を超えるひとびとの生き方を通して、未来に繋がる共生への新しい視点を提示することを目標とする。

【プロジェクトリーダー】赤木妙子（目白大学教授）

4) 公開シンポジウムの開催

学術研究プロジェクトの研究成果発表として、以下の公開シンポジウムを開催した。

(1) シンポジウム「日系カナダ人の戦後 ―埋もれた歴史に光をあてる―」

開催日時：6月3日（土）14:00-17:00

参加者数：64名

概要：太平洋戦争が始まった翌年（1942）、カナダ政府は、カナダ西海岸に居住していた21,000人の日系カナダ人を敵性外国人として内陸部に強制移動した。それらの日系人は、戦後、カナダ政府の通達により、「ロッキー山脈の東」へ移動、または日本に「送還」、という二者択一的な選択を迫られた。ロッキー山脈の東への移動を望まない日系人は、カナダ生まれでカナダ国籍の日系人であっても日本に送られることになり、日系人社会に大きな混乱をもたらした。その後、この「送還」は「国外追放」であると言われるが、結果的には、約4,000人の日系人が日本に送られたとされている。彼らが戦争直後の日本でどのように受け入れられたか、その後、定着したか、あるいはカナダへ戻ったか、の全容は、これまで明らかにされていない。日本とカナダに在住する日系カナダ人4人の経験談を伺い、新しく発見した史料を紹介することで、埋もれたままになっている「送還」の歴史に光を当てたシンポジウムとなった。

(2) パネルディスカッション「日本のペルー人V ―ペルー系二世とともに―」

開催日時：10月15日（日）13:00-16:40

概要：2015年にはじまった「日本のペルー人」と題するパネルディスカッションの5回目。今回は、これまで「ペルー系二世」を支える活動を長年にわたって行ってきた2人の日本人と、ペルーとの関わりの中で新しい世界を切り拓こうとしている「ペルー系二世」の青年を招いてのパネルディスカッションを実施した。

(3) 公開シンポジウム「海外移住百五十年を振り返る 新たな史・資料からみる『若松コロニー』」

開催日時：12月2日（土）13:00-16:00

参加者数：64名

概要：2018年は日本人の海外移住150年記念の年となる。シンポジウムでは、日本人海外移住150年の黎明期を対象に、史料学や方法論を踏まえた米国人口センサス等の新しい史・資の接合を通じて、「若松コロニー」について見えてくることは何か検証した。「若松コロニー」をめぐる小説、ノンフィクション、日米双方の新聞記事を分類・整理し、これらを包括的に検証することで、日米の「若松コロニー」をめぐるナラティブの定着や変遷の背景に光を当てた。

(4) ワークショップ「日本のペルー人VI ―ネクストジェネレーション(第三世代)を考える―」

開催日時：12月10日（日）13:00-16:00

概要：2015年にはじまった「日本のペルー人」シリーズの6回目。「ペルー系二世」が、自分たちに続く「ネクストジェネレーション」について思い描くところを議論するワークショップを開催した。日本で生まれ/育った「ペルー系二世」同士の自由な議論を通じて、日本のペルー人の現在と未来とを考察した。

4) 研究紀要の発行

当資料館で行われた学術研究の成果として、『研究紀要 第 12 号』を発行した（2018 年 3 月発行）。論文題目等は以下のとおり。

【論文】

日本人移住史とセンサス史のリンケージ：1860-1870 年
東京学芸大学教授 菅（七戸）美弥

アメリカの新聞報道が語るワカマツ・コロニー
武蔵野美術大学准教授 小澤智子

ロンドン在住ブラジル人移住者と子どもたちの継承語教育
神奈川大学非常勤講師 拝野寿美子

親子関係がペルー人第 2 世代の社会進出に与える影響の検証
～在日ペルー人 5 家族の経験～
宇都宮大学大学院博士後期課程 小波津ホセ

【研究ノート】

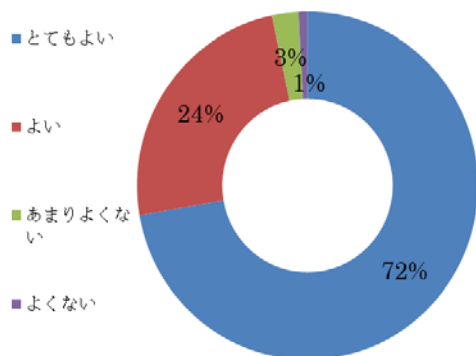
ブラジル近代史の一頁としての「シンドウレンメイ事件」
元上智大学教授/上智大学イベロアメリカ研究所名誉所員 三田千代子

田中貞吉とペルー移民事業 移民送り出しまでの前史の分析
一般財団法人日本国際協力システム 大島正裕

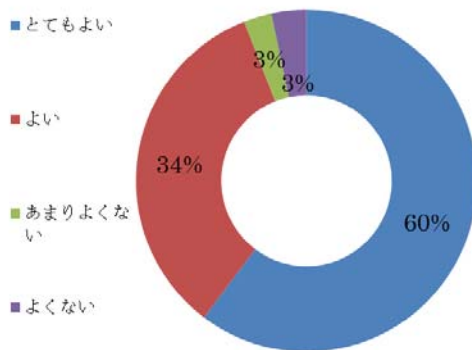
7. アンケート調査

当館の常設展示入館者を対象に利用者アンケートを実施。設問は「展示内容について」「展示ガイドによる展示解説について」「受付での対応について」「海外移住資料館だよりの記事内容について」等を設定した。回答総数は 247 件。4 段階で評価いただいたが、すべての設問において、「とても良い」「良い」を合わせた回答が全体の 9 割以上を占めた。

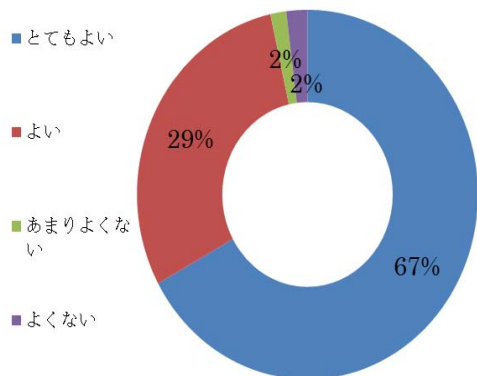
展示の内容



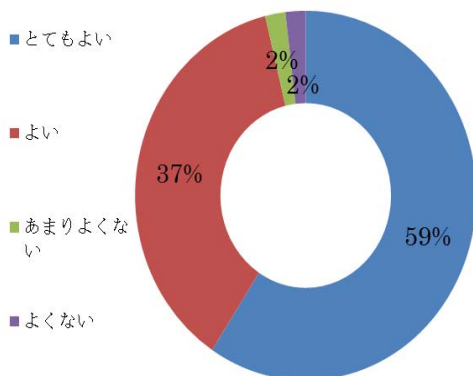
展示ガイドによる展示解説



受付の対応



海外移住資料館だよりの記事内容について



8. 各種実績等

1) 海外移住資料館関連グッズ販売の実績

当館では、所蔵資料を活用し、絵葉書（17 種）、ストラップ、国旗缶バッジ（15 種）の制作・販売を行っている。販売実績については以下のとおり。

単位：枚、個

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度
絵葉書（17 種）＊	701	665	566	468	294
ストラップ（オリジナル・十二支）	154	195	173	287	70
移住船模型	6	9	4		
国旗缶バッジ	723	713	650	686	232

＊2012 年 6 月までは 10 種での販売

＊移住船模型は 2015 年 9 月にて販売終了

2) その他

(1) 海外移住資料館来館者数 50 万人を達成

8 月 25 日（金）、海外移住資料館 来館者数が 50 万人を達成した。50 万人目となったのは、横浜市神奈川区にある神奈川学園中学校から来館した女子中学 3 年生 6 名と引率の先生 1 名のグループとなった。

(2) 秋篠宮同妃両殿下 「ハワイ日系人の歩み」パネル御見学

10 月 23 日に東京で開催された第 58 回海外日系人大会において、当館で 2017 年 6 月 24 日から 9 月 18 日に開催した企画展示 写真展「ハワイ日系人の歩み」のパネルを展示し、歓迎交流会にご臨席された秋篠宮同妃両殿下もご見学された。

(3) トリップアドバイザー「エクセレンス認証 2017」受賞

世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」の「エクセレンス認証 2017」を受賞した。

(4) 他館への資料貸出

当館所蔵資料の貸出実績は以下のとおり。

日付	貸出先	貸出内容	利用目的
4/1	昭和館	画像 68 点	常設展示利用
5/1	(一財)日伯協会	図書 4 点、標本 35	常設展示利用
5/8	CBC クリエイション	映像 5 点	放送利用
5/17	(株)テレビ東京	画像 4 点、映像 3 点	放送利用
5/25	鹿児島大学附属図書館	図書 1 点	閲覧利用
6/1	(公財)せたがや文化財団 生活工房	画像 11 点、映像 1 点	複製、展示・イベント利用、WEB 掲載
6/2	(株)日テレアックスオン	画像 2 点	放送利用
6/16	(株)文踊社	画像 2 点	印刷物掲載

6/21	徳島ブラジル友好協会	パネル 10 点	展示・イベント利用
6/27	(株)テレビ朝日	画像 3 点	放送利用
7/26	和歌山県企画部企画政策局国際課	画像 223 点	閲覧利用
8/3	ひょうごラテンコミュニティ	映像 119 点	展示・イベント利用
8/4	(有)ノートルモンド社	画像 2 点	印刷物掲載
8/10	(株)テレビ東京	映像 3 点	放送利用
9/1	(公社)青年海外協力協会	画像 70 点	展示・イベント利用
9/8	和歌山県企画部企画政策局国際課	画像 4 点	展示・イベント利用
9/8	国立大学法人筑波大学国際室	画像 17 点	展示・イベント利用
9/10	愛媛県立土居高等学校	画像 72 点	複製、展示・イベント利用、印刷物掲載、メディア等収録
9/11	北國新聞社	画像 1 点	印刷物掲載
9/13	(株)沖縄映像センター	画像 1 点	WEB 掲載、放送
9/19	愛媛県立土居高等学校	図書 3 点、映像 1 点、パネル 10 点	展示・イベント利用
9/20	国立大学法人筑波大学国際室	パネル 10 点	展示・イベント利用
9/28	TBS テレビ	映像 4 点	放送利用
9/29	広島県・ハワイ州友好提携 20 周年記念事業実行委員会	図書 11 点、標本 1 点、文書 1 点	展示・イベント利用
9/30	島根県海外移住家族会	映像 3 点	展示・イベント利用
10/19	読売テレビ放送(株)	映像 3 点	
11/1	和歌山県企画部企画政策局国際課	画像 26 点	展示・イベント利用
11/14	(株)ティーヴィボックス	画像 1 点	放送利用
1/24	(公財)浜松国際交流協会	パネル 41 点	展示・イベント利用
1/29	花巻市	画像 5 点	複製、展示・イベント利用
2/20	神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科	パネル 15 点	展示・イベント利用
2/28	ファミリーサーチ	画像 8 点	展示・イベント利用
3/1	(公財)海外日系人協会	画像 2 点	WEB 掲載
3/2	沖縄NGOセンター	映像 9 点	閲覧利用
3/6	(株)メディア総合研究所	画像 1 点	印刷物掲載
3/10	テレビ大阪	図書 1 点	閲覧利用

4)各種実績

2017年度業務実績一覧

2017.4～2018.3

常設展示スペース	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
入館者数	3,953	6,501	4,533	3,621	5,828	3,440	5,097	2,868	3,348	2,494	3,441	3,115	48,239
(前年同比)	118%	105%	109%	123%	111%	83%	73%	58%	85%	70%	103%	75%	99%
一般	3,015	5,437	2,785	3,262	5,417	2,817	4,946	2,466	2,536	2,281	3,005	2,698	40,665
学校関係	938	1,064	1,748	359	411	623	151	402	812	213	436	417	7,574
15歳未満	374	1,044	1,573	587	949	507	498	476	774	380	559	470	8,191
15歳以上	3579	5457	2960	3034	4879	2933	4599	2392	2574	2114	2882	2645	40,048
個人	2,839	4,817	2,267	2,868	5,220	2,639	4,662	2,030	2,261	2,127	2,857	2,407	36,994
団体	1114	1684	2266	753	608	801	435	838	1087	367	584	708	11,245
※開館からの累計:													524,593

教育プログラム実施	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
実施件数	16	27	27	22	24	18	23	17	14	11	18	14	231
実施対象人数	645	1,366	1,833	703	489	783	704	727	820	241	448	558	9,317

照会対応	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
対応件数	31	40	36	21	45	35	33	37	36	33	30	27	404
JICA	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	1	5
教育機関	3	0	4	0	0	2	1	1	0	1	2	1	15
国内団体	2	2	0	0	2	0	0	1	3	1	1	2	14
個人	24	35	28	18	37	29	32	35	29	29	25	22	343
自治体	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
制作会社・マスコミ	2	3	2	3	6	3	0	0	4	0	1	1	25
国外団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

図書資料室(海外移注)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
入室者数	270	259	322	224	282	259	293	228	301	265	238	308	3,249
(前年同比)	77%	98%	114%	109%	128%	113%	156%	89%	130%	85%	109%	97%	106%
一般	91	97	103	95	143	78	75	78	113	58	100	111	1,142
マスコミ等	12	13	16	14	12	8	8	16	16	6	15	9	145
JICA関係(業務)	118	94	145	106	127	117	127	99	121	127	102	135	1,418
JICA関係(研修)	49	55	58	9	0	56	83	35	51	74	21	53	544

資料受入件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
資料受入件数	104	40	22	116	61	42	90	81	278	208	30	40	1,112
(うち取得)	2	17	2	41	0	19	2	6	2	20	18	11	140
(うち購入)	47	17	1	12	0	4	3	9	1	5	0	19	118
(うち寄贈)	19	6	19	15	36	12	24	31	81	35	11	8	297
(うち移管)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
(うち既存資料)	36	0	0	48	25	7	61	35	194	146	1	2	555
(うち寄託)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
所蔵登録総件数	41,808	41,848	41,870	41,986	42,047	42,089	42,179	42,260	42,538	42,746	42,776	42,816	

webページアクセス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
Visits(訪問者数)	18,412	19,941	20,614	19,128	20,017	17,105	17,828	17,184	16,534	17,035	15,600	15,272	214,670
(前年同比)	144%	131%	118%	116%	112%	110%	112%	98%	92%	96%	88%	81%	109%
Pages(利用数)	46,576	45,448	48,535	49,432	49,976	49,544	49,786	45,949	46,551	48,112	48,571	59,207	587,687
Files(情報提供数)	178,208	205,260	215,706	219,752	230,786	194,327	198,755	188,759	179,140	184,359	158,265	172,596	2,325,913

情報検索アクセス数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
Visits(訪問者数)	895	918	941	985	973	1,054	1,208	907	875	798	769	842	11,165
(前年同比)	124%	124%	128%	128%	126%	134%	141%	75%	92%	98%	106%	79%	113%
検索件数	877	900	643	1,435	1,246	1,180	1,329	971	1,522	817	717	928	12,565
(前年同比)	89%	66%	34%	112%	61%	55%	95%	322%	70%	54%	41%	100%	71%

JICA 横浜 海外移住資料館 館報
2017 年度

**発 行：独立行政法人国際協力機構横浜センター
海外移住資料館**

発行年月：2018 年 12 月

問い合わせ先

JICA 横浜 海外移住資料館

〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港 2-3-1

Tel 045-663-3257 / Fax 045-211-1781

Web : <https://www.jica.go.jp/jomm/>

E-mail : info@jomm.jp

